

事業所職員向け 児童発達支援自己評価表

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6		一度に室内が密にならないようグループ分けをして活動している。適切なスペースの確保が出来ている。
	2	職員の配置数は適切であるか	6		多い日でも2～3対1で職員が対応しているので問題なく対応できている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6		活動スケジュールをたてる等し活動している。医ケア児も問題なく通所出来ている。玄関入口、室内、トイレはバリアフリーになっている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6		活動終了時、整理整頓、室内清掃、おもちゃの消毒をしている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6		定期的話し合い見直しを行っている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6		毎年評価を行っている。面談等でも保護者様の意向の聞き取りを行い、職員間で共有している。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6		HPやブログにて公開している。又、保護者様へ掲載した事の周知をしている。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	2	他事業所の上長に訪問してもらったり、全事業所の合同会議にて意見を頂いている。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6		外部研修、内部研修を行っている。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6		面談にて保護者様からニーズを聞き取り、支援会議にてアセスメントを実施、評価し作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6		JSI-R、ICF、遠城寺式などの活用。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6		面談にて保護者様からニーズの聞き取りや相談を受けている。送迎時等でも日々の情報共有を行い、児童個々に合った支援内容を考えている。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6		職員間で定期的に話し合いをしている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6		会議や朝礼時に活動チームごとに話し合い、共有している。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6		イベントの実施など、イレギュラーな活動も行っている。季節に合わせた製作や行事を行っている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	6		児童のレベルとニーズに合わせて、定期的に再評価している。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6		リーダーを中心に、口頭やメッセージアプリ等を使用し送迎担当や役割分担等の共有を行っている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	1	勤務時間の関係で全員では難しいが、申し送りノートやメッセージアプリを通して行っている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6		連絡帳やLINEを使用し児童の記録をとっている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6		支援計画書作成時、モニタリングを必ず行っている。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	1	利用者様に相談員がついていない事が多い。担当者会議の実施がなく、声掛けを行いたい。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	6		療育センターや相談員と連携している。通園先とも連携を図り、支援を行っている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	6		療育センターへリハビリの様子を見学しに行ったり、学校との情報共有を行っている。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	6		指示書の更新時など、必要に応じて報告書を提出している。医療的ケア判定スコアをもとに支援を行っている。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	1	保育園へ訪問する等し、情報共有している。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	2	今年度、小学校へ移行される児童もおらず共有なし。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6		こども部会、顔ネット等にて情報交換している。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	1	地域の公園や児童館等への外出活動を通して、事業所以外の人との関りの場を設けている。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	6		こども部会、顔ネット等に参加。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6		送迎時や、必要に応じて面談時に共有している。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	6		保護者会、保護者参加イベント。子育てサポート等、積極的に実施している。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6		契約時や必要に応じて再度説明している。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6		作成時には、事前に保護者様へニーズの聞き取りを行い、作成後には保護者様と共に内容を確認、同意を得ている。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		6	面談、子育てサポート等の機会を設け提案を行っている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		6	保護者会の実施、保護者参加型のイベントにて機会を設けている。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか		6	他職員にも周知して上で、速やかに日程調整の対応を行っている。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		6	ブログの作成をし、活動内容を発信している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか		6	施錠をしている。(書庫、スマホ)
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		6	様々な連絡手段を用いて、コミュニケーションをとるようにしている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	5	地域の方への働きかけはなかった。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか		6	定期的にマニュアルの見直しを行っている。保護者様へは口頭で説明。避難訓練を実施し、アプリで周知をしている。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		6	定期的に避難訓練を実施。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか		6	契約時に確認と変更時には共有をお願いしている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		6	契約時に聞き取り、対象となる食品の提供がないよう注意している。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		6	紙面にて共有、ファイルで保管している。又、全事業所の集まる会議にて共有。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		6	定期的に研修の実施、マニュアルの見直しをしている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		6	契約時に説明。必要に応じて同意書を記入してもらっている。

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。